平成31年度　第１回教育委員会定例会

議決事項

件　　名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第３号 平成31年３月31日付け退職者、平成31年４月１日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について	退職者、転出者、転入者等を報告するものである。	特記事項なし	
報告第４号 垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則の一部改正について	垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則の一部改正をしたことについて、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第５号 垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規定の一部改正について	垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規定の一部改正をしたことについて、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第６号 垂水市教育委員会文書管理規定の一部改正について	垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規定の一部改正をしたことについて、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第７号 平成31年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について	平成31年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	

報告第８号 　市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について	市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーを教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 　委嘱期間：委嘱日から平成 32 年３月 31 日まで。	特記事項なし	
報告第９号 　平成31年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について	平成31年度垂水市地区公民館の館長・主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第10号 　平成31・３１年度垂水市スポーツ推進委員の委嘱について	垂水市スポーツ推進委員を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 　委嘱期間：平成 31 年４月１日から平成 33 年３月 31 日まで。	特記事項なし	
議案第９号 　垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について	垂水市教育委員会外部評価委員を委嘱しようとするものである。 　委嘱期間：平成31年４月９日から平成33年３月 31 日まで。	特記事項なし	承　　認

平成31年度　第　1　回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出　　席　　者	
平成31年４月９日（火） 午後２時００分 ↓ 午後４時１５分 第２研修室	教　育　長　坂 元　裕 人 教 育 委 員　野 村　繼 治 教 育 委 員　田 原　正 人 教 育 委 員　葛 迫　幸 平 教 育 委 員　田之上　厚美	教育総務課長　紺 屋 昭 男 学校教育課長　明 石 浩 久 社会教育課長　野 嶋 正 人 国体推進課長　米 田 昭 嗣

会　議　要　旨

１　開　会

定刻、定足数に達しており、平成31年度第１回教育委員会定例会を開会した。

２　平成30年度第12回定例会及び第２回臨時会、第３回臨時会会議録の承認

承認

３　議　事

報告第　３　号　平成 31 年３月 31 日付け退職者、平成 31 年４月 1 日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について
報告第　４　号　垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則の一部改正について
報告第　５　号　垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正について
報告第　６　号　垂水市教育委員会文書管理規程の一部改正について
報告第　７　号　平成 31 年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について・
報告第　８　号　市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について
報告第　９　号　平成 31 年度垂水市地区公民館長・主事の任命について
報告第 10 号　平成 31･32 年度垂水市スポーツ推進委員の委嘱について
議案第　９　号　垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について

４　その他

５　委員並びに教育長及び課長報告

６　閉　会

議事内容等

３　議　事	報告第 ３ 号 平成 31 年３月 31 日付け退職者、平成 31 年４月１日付け教育委員会職員及び小・中学校教職員定期人事異動について
教育総務課長	退職者、転出者、転入者等を報告するものである旨、及びその内容について報告。 （質疑なし）
	報告第 ４ 号 垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則の一部改正について
教育総務課長	垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則の一部改正をしたことについて、その内容について報告。 （質疑なし）
	報告第 ５ 号 垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正について
教育総務課長	垂水市教育長の権限に属する事務に関する決裁規程の一部改正をしたことについて、その内容について報告。 （質疑なし）
	報告第 ６ 号
教育総務課長	垂水市教育委員会文書管理規程の一部改正について 垂水市教育委員会文書管理規程の一部改正をしたことについて、その内容について報告。 （質疑なし）
	報告第 ７ 号 平成31年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について
学校教育課長	平成31年度垂水市特別支援教育支援員の委嘱について、その内容について報告。
野村委員	学校から特別支援教育支援員の増員などの要望はないのか。
学校教育課長	学校からは、支援員を配置していただきありがたいという声が届いており、特に人数の多い学校においては昨年度より増員でき、要望があった学校へは、すべて配置ができている。そのことで子どもたちの安全の確保や、きめ細やかな個別指導ができている。また、少しずつ学力の向上が見られるなど、学校からは感謝の声が届いている。
野村委員	わかった。

田原委員	ある学校で、先生方を困らせていた児童が成長とともに回復してきたこともあろうと思うが、支援員の先生方のきめ細やかな指導によって成果が出てきていると思える。
学校教育課長	報告第 8 号 市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーの委嘱について 市・県スクールカウンセラー、市スクールソーシャルワーカー、市・県スクールガードリーダーを教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
教育長	勤務日数は何日か。
学校教育課長	スクールカウンセラーは年16日、スクールソーシャルワーカーは年100日、一人年間50日だ。
野村委員	急な要請があったときはどうなるのか。
学校教育課長	深刻な事案が発生した場合、市の予算を別途計上しているためそれで対応しているということだ。
野村委員	わかった。
社会教育課長	報告第 9 号 平成 31 年度垂水市地区公民館館長・主事の任命について 平成 31 年度垂水市地区公民館館長・主事を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。 （質疑なし）
葛迫委員	一地区の公民館長が昨年に引続き決まっていない状況であるが、公民館という体をなさないのではないか。
社会教育課長	この地区については、２年以上公民館長がいない状況であり、今回公民館回りを行った際も、総会には諮るが、なかなか決まる見通しがない状況だということだった。 公民館長が不在で困るのではないかと聞くと、「困る」という返事が返ってきたが、それでも決まらない状況で、市公民館主事が館長代理であるということは思っていない。公民館主事としては、ただ、公民館の運営をやっていくことだけだということである。 担当課としても、公民館長が不在ということは決して良い環境ではないことだと認識している。
葛迫委員	公民館主事も辞められることがあるのか。

社会教育課長	本年度までは主事をされるが、来年度以降は会計年度任用職員制度が始まることもあり未定です。
葛迫委員	わかった。
	報告第 10 号 平成 31･32 年度垂水市スポーツ推進委員の委嘱について
社会教育課長	垂水市スポーツ推進委員を教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
田原委員	地区公民館等でスポーツ行事を行う場合は、協力をいただいてよいということか。
社会教育課長	そのとおりだ。教育委員会が地域のスポーツ推進のために任命しているものだ。
田原委員	わかった。
	議案第 9 号 垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について （非公開）
４　その他	なし
５　委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
野村委員	１．「協和小学校卒業式について」 3 月 22 日（金）協和小学校の卒業式に出席した。男子４名、女子２名の卒業式であった。 卒業生、在校生ともに、たいへん整然とした流れの中で、気持ちのこもった式典であった。 ここ数年間は、特に児童数の減少が進んでいて半減してしまったとのことであった。来年度の新入生は７名の予定であり、１名増加ということで、「よかったですね。」と喜んだところ、実は在校生の転出があるかもしれないのだということで、まだ流動的であるとのことである。協和小学校の児

	童数は３月現在 42 名ということであった。 　垂水市内の小規模校は、ほぼすべての学校がそうだが、児童の１人や２人の増減で、一喜一憂しなければならないという現状がある。また、この児童数の減少については、地域住民の皆様も、全く同様な心配をされていた。時代の状況が生んだ、仕方のない現実であると分かってはいても、何とかならないものかと、いつも話題になっている。 ２．「松ケ崎小学校の入学式について」 　４月８日（月）、松ケ崎小学校の入学式に参列した。新入生は女子児童１名であった。全校児童数は８名で、小規模校の中でもいちばん少人数ではないかと思った。 　小規模校の卒業式、入学式いずれにおいても感じるのだが、地域の皆様の全面的な支援、心づかいがあるため、いつも心温まる気持ちになる。 　新入生を迎える在校生も、行き届いた準備のもとで、それぞれの役割を懸命にこなそうとする姿が、たいへん健気で、いじらしく思えた。 　この日、たった一人の入学式を体験した女子児童にとって、この貴重な体験が、必ずや彼女の人生にとってプラスに働いてくれることを祈るばかりであった。
田原委員	１．「境小学校の卒業式について」 　３月 22 日（金）、境小学校の卒業式に出席した。 　色とりどりの花々がいっぱい飾られた会場で、多くの地域の方々の参加をいただき、４名の卒業生が巣立っていった。皆、しっかりと成長し、改めて教育の力の大きさを感じた。 　また、感銘を受けたのは、４名全員が涙を流し、学校や先生方との別れを惜しんでいたことである。それだけ、より濃密な心の繋がりがあった証拠であろうと、こちらまで胸が熱くなる思いだった。 ２．「おんだんこら祭りについて」 　４月７日（日）、おんだんこら祭りが水之上地区で開催された。 　週間天気予報では、最初雨模様の予報が出ていて心配していたが、当日は快晴、無風、温暖と最高の天気に恵まれ、桜の舞い散る中で約 2,500 名の来場者をいただき開催できたことは、公民館としても最高の喜びであった。かねては、錦江町田代の「花瀬まつり」と重なっているため、露天商の方々が２箇所に分かれるが、今年は県議会議員選挙で花瀬まつりが一週間延期になったことから、露天商の皆さんが水之上に終結したため、その分、出店も賑わいが増した。 　毎年、国会議員や県議、市長や議長、副市長、教育長、課長の方々も時間を作ってご参加いただき、この祭りを支えてくださっていることに心から感謝している。 　演芸大会も、幼稚園から青年・壮年まですべての年代に出てもらうようにしたり、また、全市的な参加になるように工夫したりしており、今現在、そのようになってきていることにも感謝している。 　今年は、展示にも力を入れ、中学校、高校にも呼びかけてみたところ、

	中学校は習字を、高校は衣服製作のモデル作品を展示していただき会場が華やいだ雰囲気になった。今後は講座を増やして、たくさんの作品を出してもらいたいと考えている。 　さて、祭りの前日に鹿児島市在住の方から、「白山には登れますか」と問い合わせの電話があり、「昔は、おんだんこら祭りには白山参りが必ずあったが。」と言われ、「今も登れますが、登山道が少し荒れているので、登山に慣れた方と複数で登ってください。」と返事をした。 　今年も３月第三日曜日の白山神社の降神祭で、宮司さんや段集落役員、公民館役員 10 名で登ったが、一般の方々にも参詣登山ができるように登山道を整備し、白山参詣が復活するようにしたいと強く思っている。 　今春、鹿児島大学法文学部を卒業した、水之上出身の田中翔乃さんが、「伝統行事と地域社会」と言うテーマで卒業論文を書いてくれて、その中に「おんだんこら祭り」を取り上げてくれていた。 　このように多くの方々が、関心を持つようになってきたことから、これからも水之上地区公民館が中心になって、垂水市や地元企業の協力を得ながら、皆に愛される伝統行事になるように頑張っていきたいと考えている。
葛迫委員	１．「柊原小学校の卒業式について」 　第 123 回柊原小学校の卒業証書授与式が、３月 22 日（金曜日）に開催され、男子１名、女子２名、計３名の卒業生に校長先生から卒業証書が授与された。 　３名の卒業生は、これからの夢について、次のように語ってくれた。 　一人目は、「責任感のある、飛行機のパイロットになることで、生まれて初めて飛行機に乗ったときの、どきどき・はらはら感、こんなに重たくて大きいものがなぜ飛ぶのか。今でも忘れられない。」 　二人目は、「ファッションデザイナーになること。私立中学校の受験勉強を頑張れたのは、大好きなアーティストの歌があったから、その歌への感謝の気持ちを伝えられるようなデザイナーになりたい。」 　三人目は、「保育士になること。いとこの面倒をみたとき、私の声掛けににこっと笑ったあの笑顔は今でも忘れられない。」 　３名の卒業生の夢は希望に満ち溢れ、目標をつかみ取るスタートラインに立っているように見えた。これからが楽しみだと思った。 ２．「新城小学校の入学式について」 　平成 31 年度、新城小学校入学式が４月８日（月曜日）に開催された。まだあどけないけれど、元気いっぱいの女子３名を迎えて入学式が始まった。 　校長先生は式辞の中で、校長先生のお友達のミニオン君を使って二つのお願いをした。 　一点目は、「交通事故に注意すること。学校の登下校の国道は特に注意してください。」 　二点目は、「元気なあいさつをすること。朝起きたら、『おはようございます。』学校では先生やお友達、お兄さん、お姉さんに『おはようございます。こんにちは、さようなら。』」というミニオン君の言葉に新一年生は興味を示していた。

	「元気なあいさつ」そして子どもたちを「交通事故から守る」この２点に絞った校長先生方の願いに「子どもは地域の宝だ」「大切に育てよう」とする強い思いを感じた。
田之上委員	１.「新城小学校卒業式について」 ３月 22 日（金)、新城小学校の卒業式に出席した。心配していた雨も降らず、穏やかな卒業の日になった。 ２名の卒業生を送り出す卒業式は、多くの地域の方々のご臨席のもと挙行され、とても心温まる式となった。 卒業生二人で、とても長い言葉や、卒業生、在校生が歌を交えながら、掛け合いをしていたが、歌や言葉を覚えるのも大変なことで、立派だなあと感心することだった。 学校の目標に「のびのび、ハキハキ、にこにこと」あったが、本当にそのとおり、子どもたちがのびのびと行っていた。 立派に述べる卒業生の様子を見て、二人が今まで上級生として、下級生とともに頑張ってきたであろう日々を思い描くことであった。 ２.「牛根小学校入学式について」 ４月８日（月)、あちらこちらに桜の花の咲く穏やかな春爛漫の日、新一年生３名を迎える牛根小学校の入学式に出席させていただいた。 地域の方々が、今年は３名の入学で児童数が二桁になったと、喜んでいらっしゃった。 たくさんの地域の方々が、まるでわが子か孫の入学式のように、うれしそうに出席されていて、地域の方々の支援を改めて感じ、うれしく思うことだった。 新一年生の３人は、恥ずかしそうにしていたが、舞台で名前を呼ばれると大きな声で、「はい。」と返事をしていた。 ３.「垂水中央中学校入学式について」 ４月８日（月）午後からは、垂水中央中学校の入学式に出席した。 ３月に頼もしく成長した３年生を送り出したが、体育館いっぱいの生徒たち、保護者、先生方、地域の方々が出席し、春の花々に彩られた入学式会場は、新入生 99 名を迎える、うれしそうな表情をした方々がいらっしゃった。 少し大きめの制服に身を包んだ、初々しい姿、氏名点呼に堂々と答える、まだあどけなさが残る新入生の様子に、「中学校でも頑張ろう。」という決意が見えるようであった。 新入生を迎え、学校も活気が出てきたのではないかと思い、これからを楽しみにしていきたい。 新年度が始まり、学校も教育委員会もたいへん忙しいと思うが、子どもたちの安全や、子どもたちが何かを訴えようとしているサインを、どうぞ見逃さないようにしていただきたいと思う。

教育長	１．「市内卒業式や入学式で思ったことについて」 　垂水小学校の卒業式に出席し、卒業証書授与の場面での担任の先生が、児童の氏名を読み上げた際に、１組、２組の男の子も女の子も、堂々とした返事を聞いた。そのときに、「ああ、この子たちは、きっと伸びる子どもたちだなあ。」と確信するとともに、小学校６年間、「良い教育を受けてきたのだ。」という成長の跡を垣間見た気がした。きっと良い中学校３年間を過ごしてくれるのだろうと思いながら、中学校の入学式で告辞を読ませていただいた。 　先ほど、葛迫委員から、入学式で校長先生のお話のなかで、新一年生のために、ぬいぐるみを使ったあいさつがあり、ユニークな試みで和やかな雰囲気でたいへんよかったとおっしゃっていたが、入学式前日の「おんだんこら祭り」のときに水之上小学校の校長先生から、「式辞の後に読み聞かせをしてよいでしょうか。」とあり、「どうぞされてください。」と答えた。 　入学式当日、校長先生は式辞終了後、壇上を降りた下のフロアで、大判の絵本を開き、新一年生だけでなく、在校生や保護者の方々へも読み聞かせを始められた。 　読み聞かせを聞きながら、「このような工夫も大事だなあ。」と思いながら、初めてお子さんを入学させる保護者にとっては、「読み聞かせというのは大事だな。」ということを実感されたのではないかと思うことであった。 　このように、各学校いろいろな工夫で入学式が行われていることを委員の皆様からもお聞きし、たいへんうれしく思うことであった。 　さて、全国で様々な事件や事故が起きているが、学校において大事なことは、「子どもたちの命を守る」ということで、重大事故が発生したときには、その後処理などに膨大なエネルギーと時間を費やすこととなり、日頃の教育活動にも影響が出る状態となる。未然防止のための安全指導は繰返しすべきで、また、子どもたちの日常を観察し、他人の気付き、また周りの大人の気付きがその子を支えたり、変えていったりしていくことに繋がるのではないかと思っている。 　教育委員会の職員も、学校管理職も替わるなど、新たなスタートが始まったが、よいスタートを切ってほしいと入学式に参加して思うことであった。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長	３月 12 日から４月９日までの主な行事等について報告。 併せて、５月９日までの行事予定、及び詳細についてお知らせした。
６　閉　会	